

卒業生の就業先調査 結果

調査対象者

令和元年度に本学卒業生を採用した法人及び施設等の施設長、人事課長（14 施設・事業所）

調査期間

令和 2 年 12 月から令和 3 年 1 月

調査票回収数・回収率

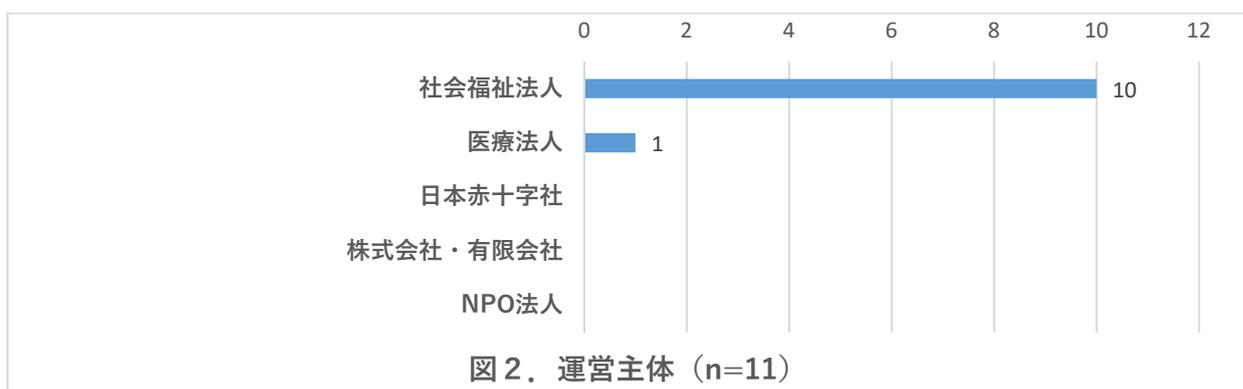
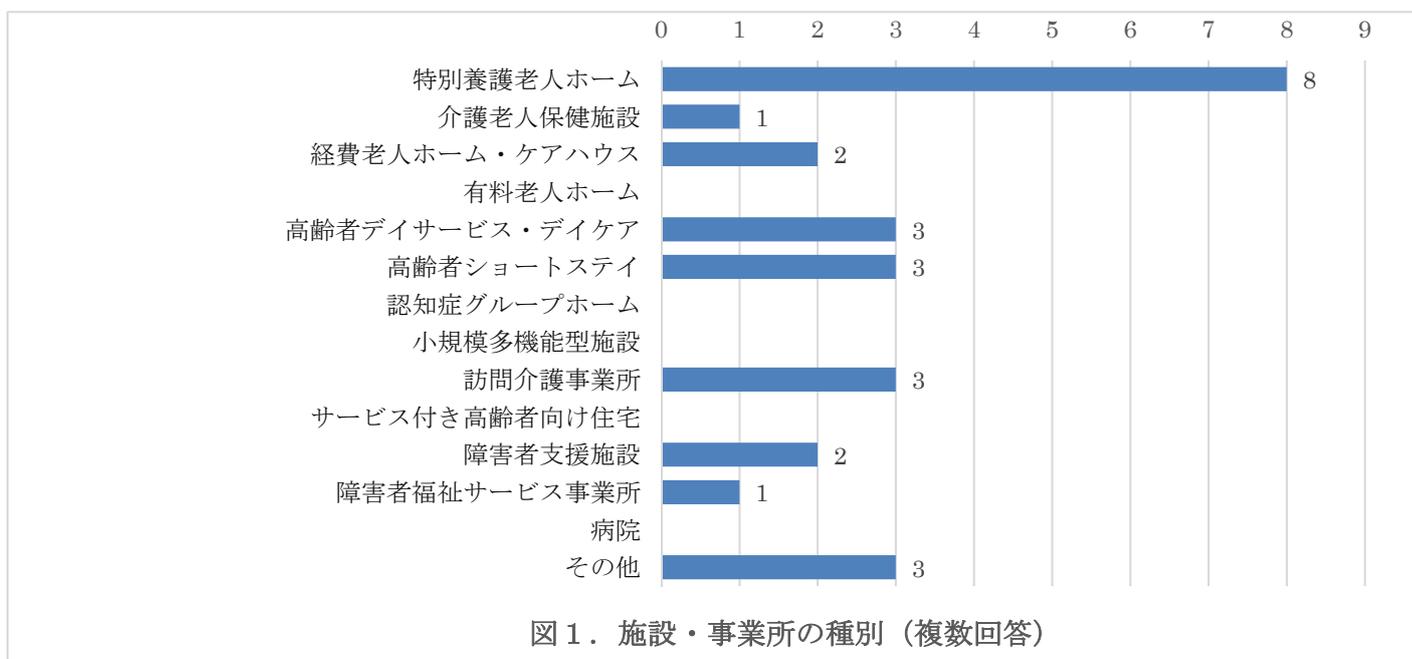
回収数 11 通（施設・事業所）

回収率 78.6%

1. 施設・事業所の属性

施設・事業所の種別は、特別養護老人ホームが最も多く（8 件）、次いで高齢者デイサービス・デイケア、高齢者ショートステイ、訪問介護事業所、その他がそれぞれ 3 件であった。

施設・事業所の運営主体は、社会福祉法人が最も多く（10 件）、次いで医療法人（1 件）であった。



2. 卒業生の雇用状況

令和2年12月現在で勤務している本学卒業生の職種について回答を得た。

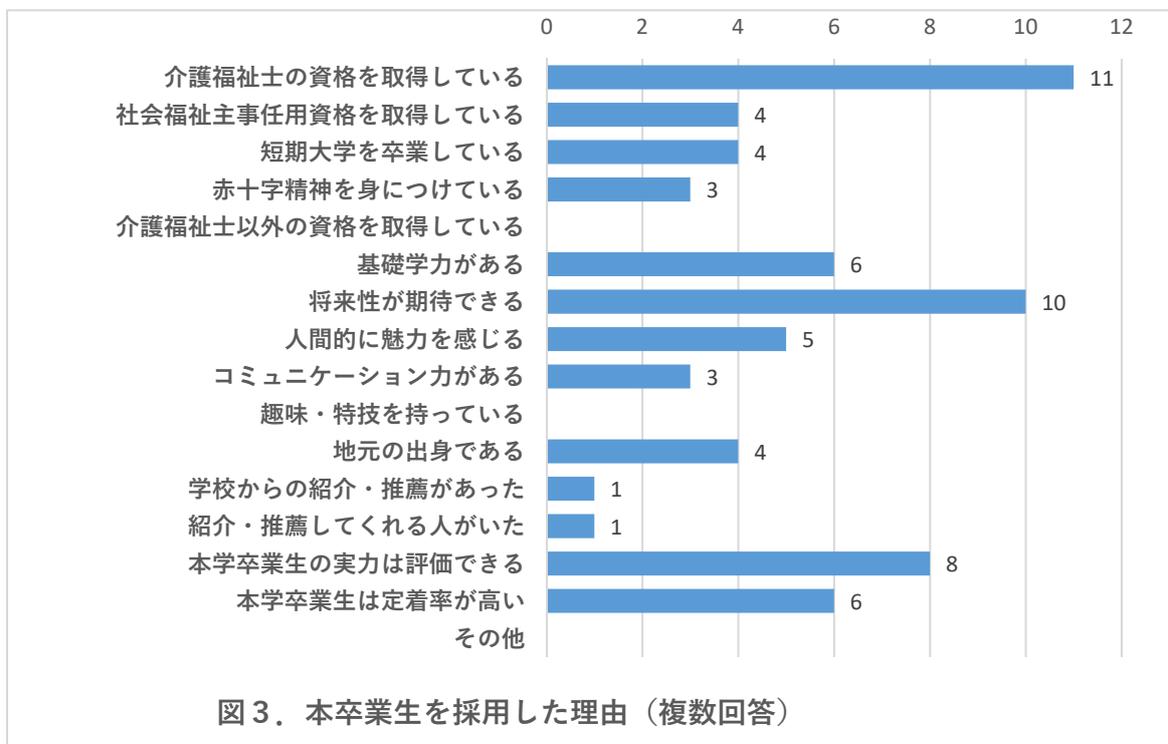
最も多かった職種はケアワーカー(介護職)73名、次いでソーシャルワーカー(相談職)7名であった。

職 種	男性	女性	計
ケアワーカー(介護職)	17	56	73
ソーシャルワーカー(相談職)	4	3	7
その他(看護師)	1	0	1
計	22	59	81

3. 採用理由(複数回答)

★上位1位と2位は前回調査と同様。3位と4位は逆。

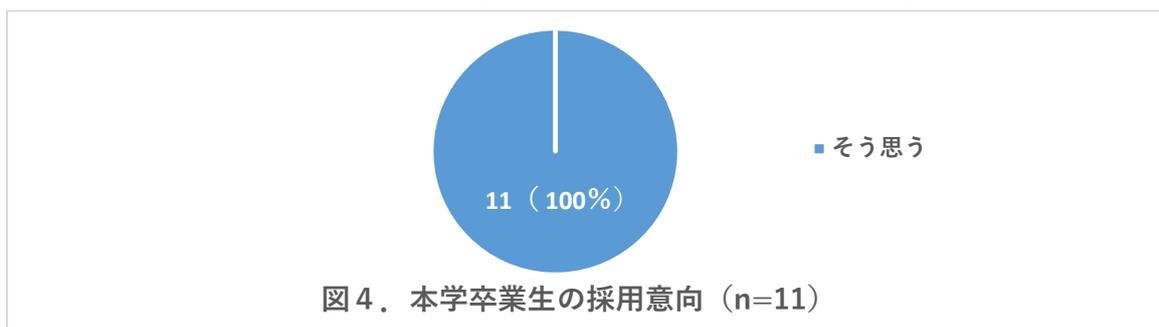
本学卒業生を採用した理由として最も多くあげられたものは「介護福祉士の資格を取得している」(11件)であった。次いで、「将来性が期待できる」(10件)、「本学卒業生の実力は評価できる」(8件)、「基礎学力がある」(6件)、「本学卒業生は定着率が高い」(6件)と続いた。



4. 今後の採用意向

★前回調査では「そう思う」89.2%

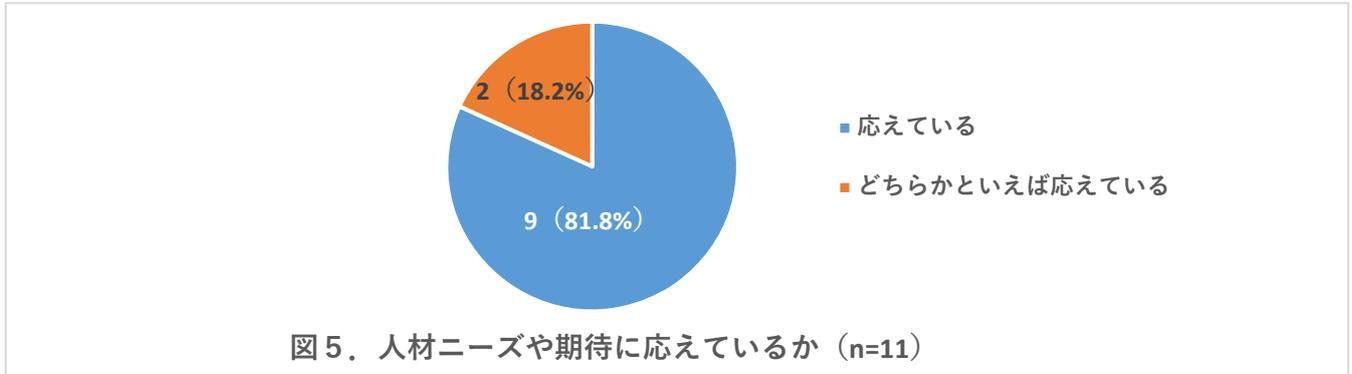
「今後も本学卒業生を採用したいと思うか」という質問に対し、「そう思う」11件(100%)であった。



5. 卒業生への評価

★前回調査では「応えている」51.4%、「どちらかといえば応えている」35.1%

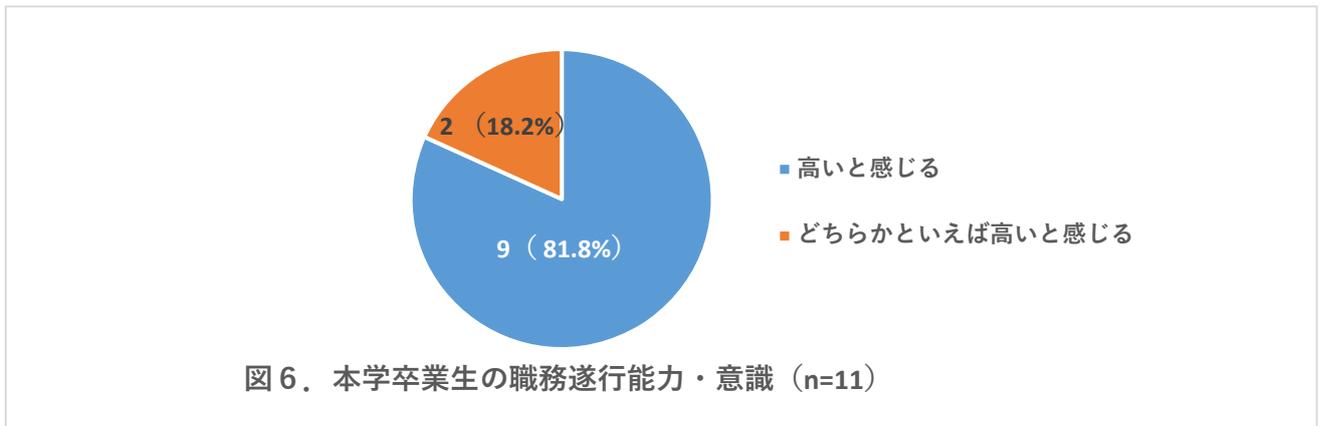
「本学卒業生が施設・事業所が求める人材ニーズや期待に応えているか」という質問に対し、「応えている」が9件(81.8%)、「どちらかといえば応えている」が2件(18.2%)であった。



6. 職務遂行能力

★前回調査より高い傾向。前回調査では「高いと感じる」が32.4%

本学卒業生の職務を遂行する能力や意識の水準については、「高いと感じる」9件(81.8%)、「どちらかといえば高いと感じる」2件(18.2%)であった。



7. 卒業生が身に付けている能力

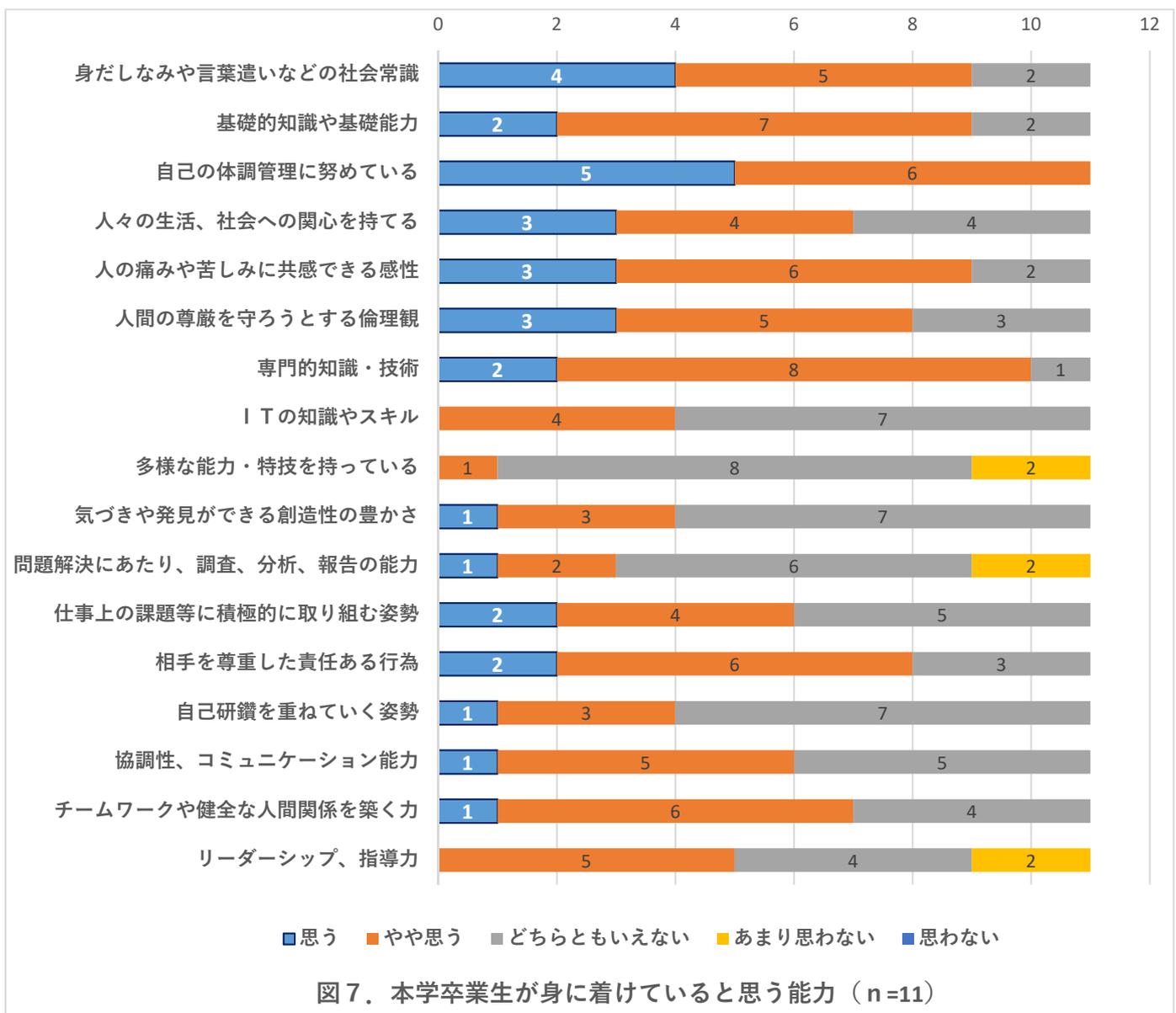
★「社会常識」「基礎能力」「体調管理」「共感できる感性」「専門知識・技術」は前回同様に高い傾向。「リーダーシップ」「問題解決力」「多様な能力」前回と同様に低い傾向。

本学卒業生が、図7に示した能力等(17項目)を身につけているかどうかについて、「(身につけていると思う)」から「(身につけていると)思わない」までの5件法で回答を求めた。

「思う」という回答が最も多かった項目が「自己の体調管理に努めている」5件(45.5%)、次いで「身だしなみや言葉遣いなどの社会常識」4件(36.4%)であった。

「思う」「やや思う」を合わせて最も多かった項目が「自己の体調管理」11件(100%)、次いで「専門的知識・技術」10件(90.9%)であった。

一方で「あまり思わない」との回答があった項目は、「多様な能力・特技を持っている」「問題解決にあたる、調査、分析、報告の能力を持っている」「リーダーシップ、指導力がある」各2件(18.2%)であった。



8. 施設・事業所における重要の度合い

★「倫理観」「身だしなみ」「体調管理」「チームワーク」の重要度が高い点は前回同様。「IT知識技術」「多様な能力」の重要度が低い点も前回同様。

前述の17項目の能力等を各施設・事業所がどの程度重要視しているのかについて、「重視している」から「重視していない」までの5件法で回答を求めた。

「重視している」が最も多い項目は「人間の尊厳を守ろうとする倫理観」8件（72.7%）、次いで「チームワークや健全な人間関係を築く力」7件（63.6%）であった。

「重視している」と「やや重視している」とを合わせた回答が80%以上であった項目がほとんどであったが、比較的低かった項目は「多様な能力・特技」1件（0.9%）、「ITの知識やスキル」4件（36.4%）、「リーダーシップ、指導力」6件（54.5%）であった。

『6. 本学卒業生が身に付けていると思う能力』の回答（図7）と見比べると、「人間の尊厳を守ろうとする倫理観」、「問題解決にあたり、調査、分析、報告の能力」、「チームワークや健全な人間関係を築く力」において施設・事業所側の期待に十分に答えていないことが読み取れる。

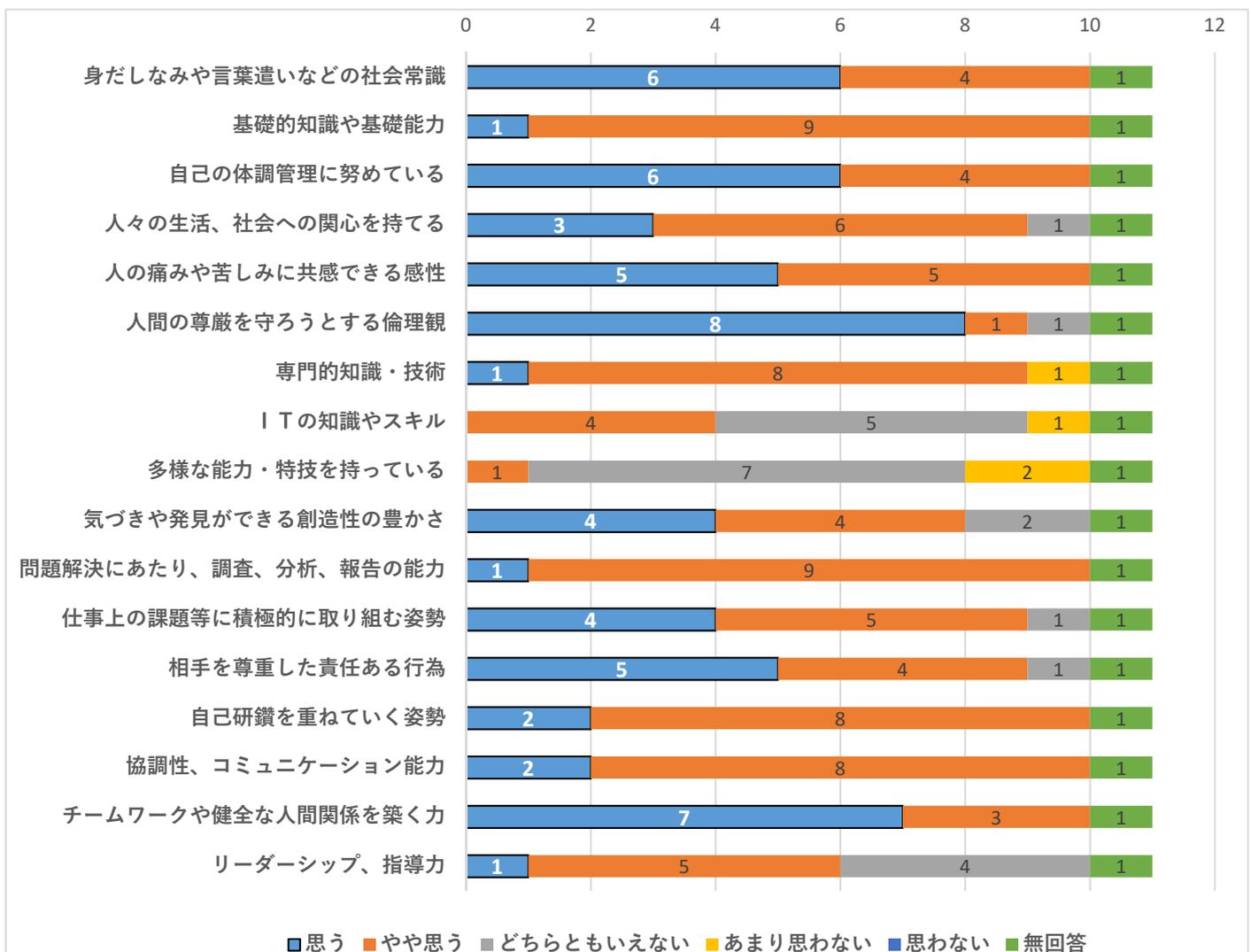


図8. 施設・事業所における重要度 (n=11)

9. 本学の教育活動について

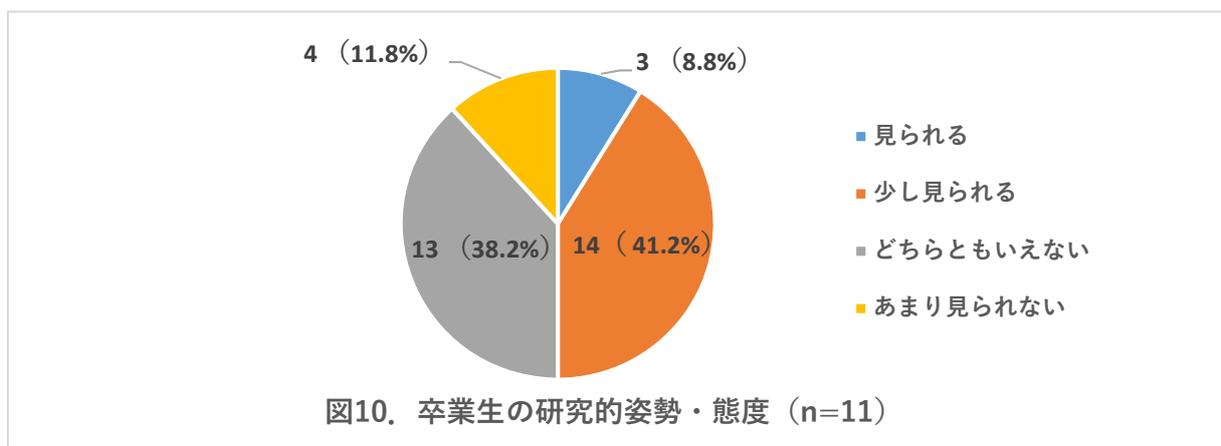
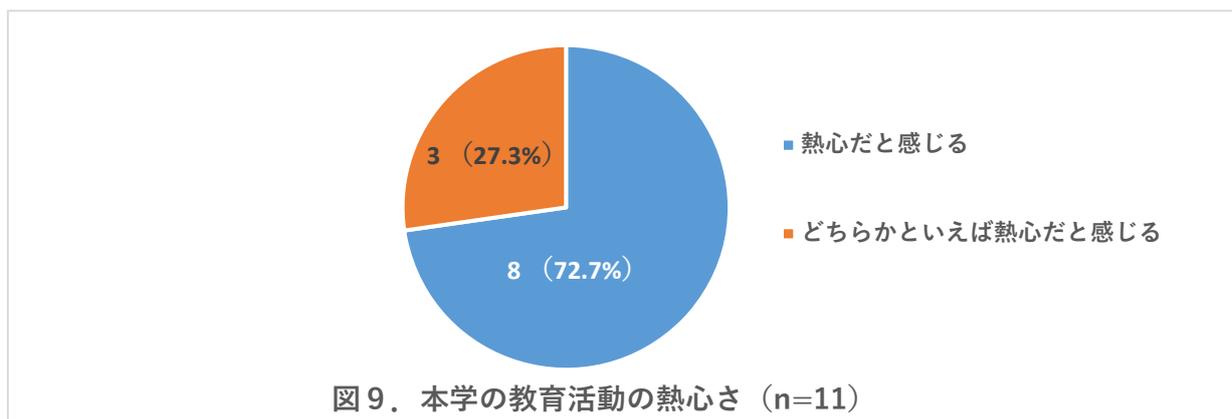
★前回調査よりも教育活動が「熱心だと感じる」の割合が増加。
研究的姿勢・態度が「見られる」の割合が減少（26%→8%）

本学卒業生の印象から、本学の教育活動をどのように感じるかについて回答を求めたところ、「熱心だと感じる」8件（72.7%）、「どちらかといえば熱心だと感じる」3件（27.3%）であった。（図9）

また、本学卒業生の仕事の様子から、研究的姿勢・態度がみられるかどうかについて尋ねたところ、「見られる」3件（8.8%）、「少し見られる」14件（41.2%）、「どちらともいえない」13件（38.2%）、「あまり見られない」4件（11.8%）という回答を得た。（図10）

本学の教育活動の熱心さについては、「熱心だと感じる」と「どちらかといえば熱心だと感じる」を合わせると100%となり、熱心であると感じてもらえているという結果を得た。

また、本学卒業生に研究的姿勢・態度がみられるかについては、「見られる」と「少し見られる」を合わせて全体の50%を占めるにとどまり、「少し見られる」に次いで「どちらともいえない」と回答した施設・事業所の割合が38.2%と比較的高かった。

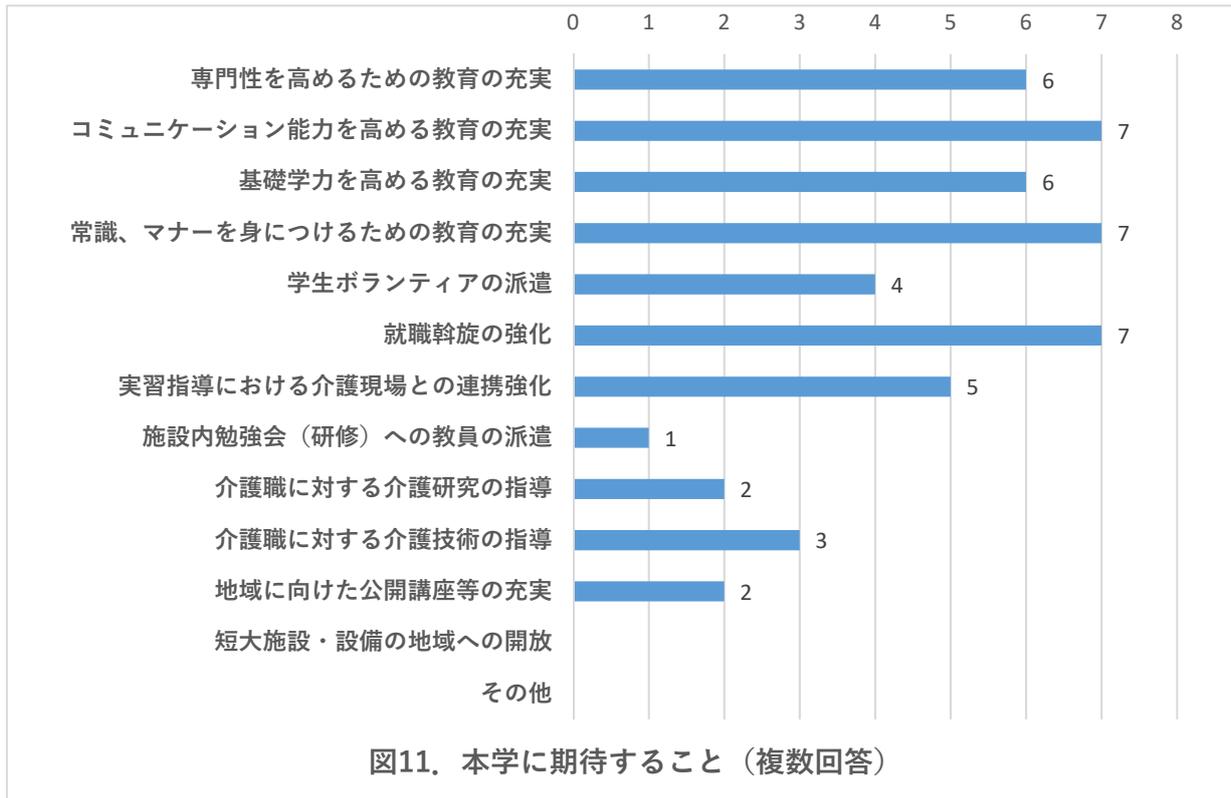


10. 本学への期待

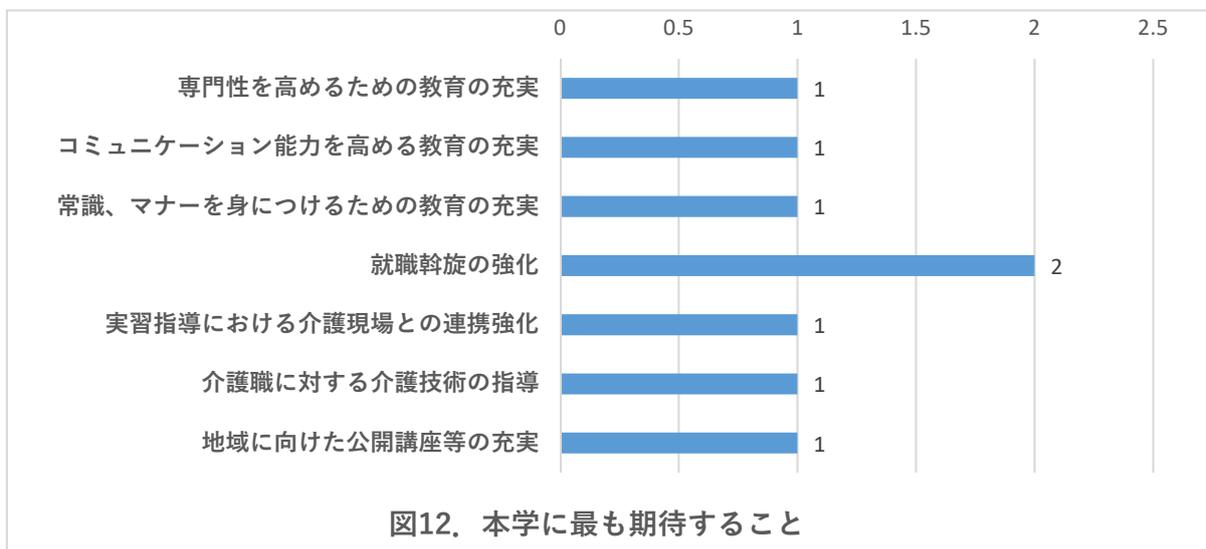
★前回調査よりも「就職斡旋の強化」の割合が増加

本学への期待について、13項目を設定し、その中から「期待する」項目について複数回答にて回答を得た。さらに、「期待する」項目の中でも「最も期待する」項目について1つ回答を求めた。

本学へ期待することとして最も多く挙げられた項目が「コミュニケーション能力を高める教育の充実」「常識、マナーを身につけるための教育の充実」、「就職斡旋の強化」で各7件（63.3%）であった。次いで「専門性を高めるための教育の充実」、「基礎学力を高める教育の充実」が各6件（54.5%）であった。（図11）



また、「期待する」とした項目の中で「最も期待すること」を1つ選んでもらったところ、一番多かったものは「就職斡旋の強化」2件（18.2%）であった。（図12）



1 1. 本学への意見・要望

本学への意見・要望について自由記述による回答を求めた結果、4ヶ所の施設・事業所から回答があった。

<p>・赤十字の「人道」の精神に基づいた教育を学んできた貴校の卒業生は、実践の場においてもご利用者に対して丁寧な対応ができております。これまで 20 名以上の卒業生が入職しており、一人ひとりが当法人の宝となっております。</p>
<p>・貴学の卒業生は、全員がまだ中堅以下の若い職員ですが、将来性豊かな者が多く、大いに期待しております。これからも貴学卒業生の就職について、よい関係性を続けていけるよう、よろしくご指導等をお願いいたします。</p>
<p>・学生の増加のために法人としてできる協力があればぜひ検討させて頂きたい。</p>
<p>・施設見学や説明会を WEB でも行っておりますので、積極的に参加していただきますよう斡旋していただければ幸いです。今後ともよろしくお願い致します。</p>